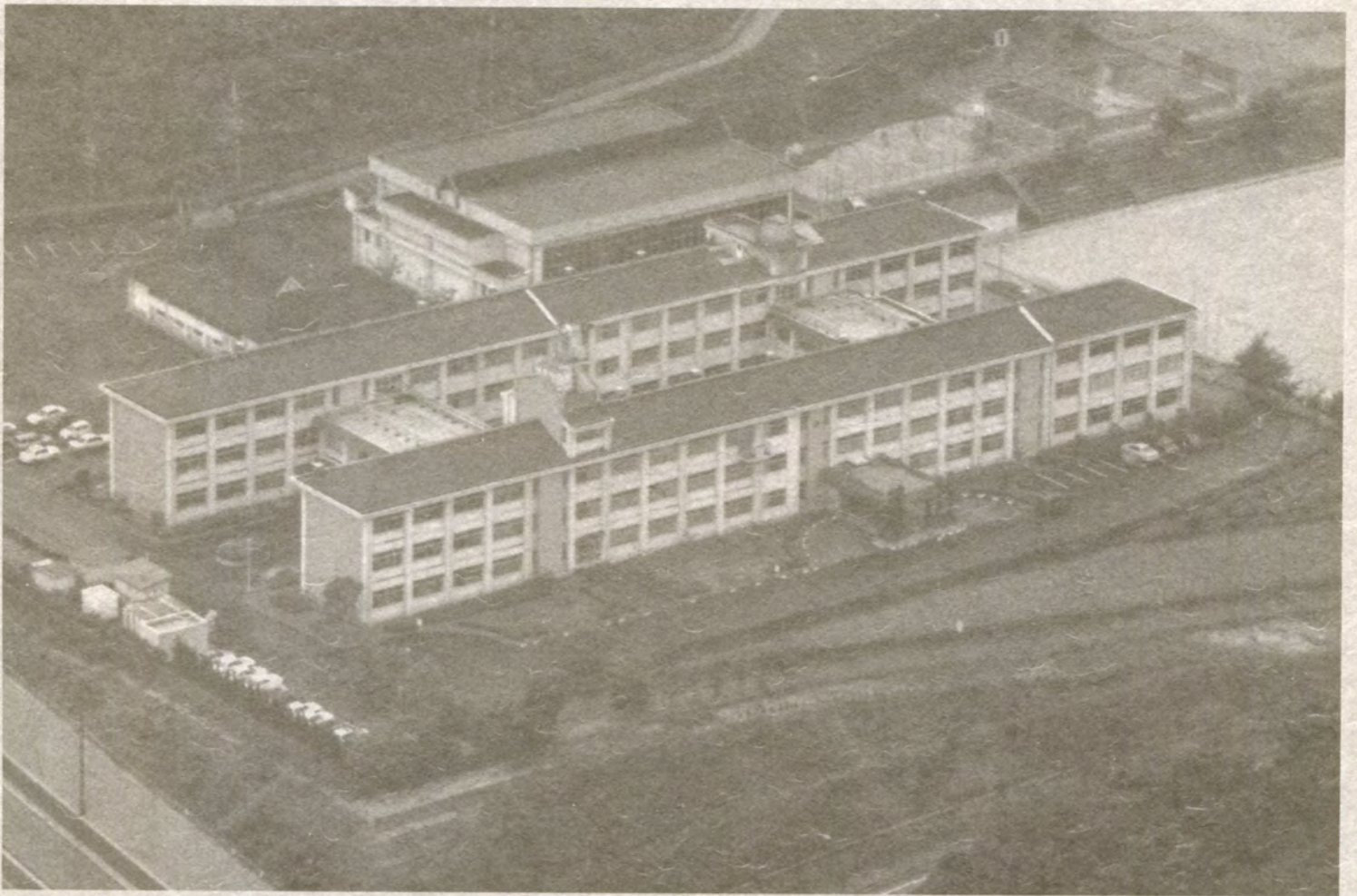


# 創立十周年 記念誌



奈良県立登美ヶ丘高等学校



創立十周年  
記念誌

奈良県立登美ヶ丘高等学校



# 創立十周年 記念誌



奈良県立登美ヶ丘高等学校

# 目 次

発刊の辞	学 校 長 松 田 親 典	1
創立十周年を祝して		
奈良県知事	柿 本 善 也	3
奈良県教育委員会教育長	天 根 俊 治	4
創立10周年記念事業実行委員会委員長	和 田 晋 一	5
育友会長	片 根 得 光	6
同窓会長	広 瀬 庸 介	6
A L T	ベバリー・ホームマン	7
第1部 沿 革		
	昭和61(1986)年度～平成8(1996)年度	17
第2部 メッセージ		
創立十周年に寄せて		
創造から躍動へ	初代校長 亀 井 敦 宥	25
懐 顧	初代教頭 田 中 喜 久	26
「巖頭に悍馬を立てよ」	初代育友会長 中 林 時 彦	26
順風満帆	二代校長 乾 芳 和	27
恵まれた自然の中で	二代事務長 八 尾 弘 昭	27
2年間の思い	前 校 長 井 阪 雅 宥	28
コバノミツバツツジの咲く学びの丘で	旧 職 員 阪 本 維	28
思 い 出	旧 職 員 中 野 和 昭	29
礼儀正しくさわやかな生徒達	旧 職 員 大 井 幸 代	29
第3部 あゆみ・展望		
I 教育活動の概要		31
II 校務分掌		
1 教 務 部		33
2 生徒指導部		37
3 進路指導部		39
4 同和教育部		45
5 保健体育部		47
6 文化図書部		49
7 環境整備部		51
8 庶 務 部		53



### Ⅲ 生徒会

1 生徒会活動	57
2 家庭クラブ	58
3 クラブ活動	59
野球部・サッカー部・ソフトボール部・バレーボール部	
バスケットボール部・テニス部・弓道部・陸上競技部	
柔道部・写真部・吹奏楽部・新聞部・演劇部・生物部	
解放研・E S S部・書道部・パソコン部・美術部・華道部	
天文部・茶道部・放送部	

Ⅳ 育友会・後援会	66
-----------	----

Ⅴ 同窓会	68
-------	----

### 第4部 記録・資料

校舎配置図	71
クラス数と在籍生徒数の変遷	72
登美ヶ丘高校の一年	73
クラブ活動の成果	75
新聞記事	80
校内刊行物	82
各種記念事業記念品	83
教職員の推移・異動	85
出身中学別入学者数の変遷	87

### 第5部 名簿

教職員	89
同窓会	91
在校生	103

創立10周年記念事業実行委員会  
編集後記



# 新たなる輝きを求めて

## — 21世紀を担う若人の育成

「生駒を仰ぐこの丘の……」、「富雄の川の色澄みて……」、「春日を望む古き地の……」と校歌の冒頭に謳われているように、東には春日の山々、西には生駒の山を仰ぎ、南北には富雄の川が流れる自然環境の良き地に、本校は産声を上げて早10年の歳月が流れました。

この自然が古代には自然村落を生み、二名という名で呼ばれたことは「和名抄」や「大乘院文書」に散見できます。また、「日本書紀」や「古事記」に記されているように金鷄が飛来したことを由来とし、「鷄邑」と呼ばれた時代もあり、これが現在の「登美ヶ丘」の原名であるとされています。

この地には人を豊かに育み、文化を栄えさせる要素が整っていたのでしょう。わが登美ヶ丘高等学校も古代からの歴史、自然の恩恵を受けながら、堅実に充実・発展して参りました。

本校の目指す教育は、校訓「誠実」・「勤勉」・「剛健」が示すように「素直さと優しさを持ち、忍耐強く学業に励み、たくましい体力と強い精神力を持った若人を育てる」ことであり、この教育目標を達成すべく、教職員と生徒が一体となって、日々の教育活動に取り組み、卒業生も1,928名を数えるに至りました。

この間、奈良県教育委員会の指定研究として学習指導研究推進校、また、特色と魅力のある学校づくり研究協力校として理科教育の研究など実践をとおした学習指導に関する研究も進めて参りました。一方クラブ活動につきましても、近畿大会、全国大会に出場できる種目も増え、着実に発展してきました。これは教職員の日々の取り



# 校名・校章・校訓



## 校名の由来

### 登美ヶ丘高等学校

本校は、西の京丘陵の西部(奈良市二名町)に位置し、日本書紀や古事記に記された「鷄<sup>とび</sup>巴<sup>のむら</sup>」の「登<sup>とみ</sup>見」に由来し、「登美ヶ丘」という地名で一般化されている。

このように古くからの由緒ある地名であるとともに、地域の人々と密着している地名をここに校名とし、「登美ヶ丘高校」と名づけた。

## 校章について



### 縁の輪華

中世より伝承された輪華天目盆をデザイン化し、古人が茶道を通して豊かな心と友愛の輪を広げた精神を受け継いだものである。

### 内側

学校周辺に自生する「コバノミツバツツジ」の三つの葉を表すとともに、西の京、矢田、生駒丘陵を象徴し、知・徳・体の成長を願っている。

### 中央の高

灯ろうを形どり、その光が県下に輝き、新しい校風樹立と発展を念じている。

デザイン 初代校長 亀井 敦 宥

## 校訓

### 誠 実

素直さと、優しさを持って物事を考え対処していく心

### 勤 勉

不断に努力することをいとわず、忍耐強く学業に励む心

### 剛 健

たくましい体力と、勇猛果敢に挑む強い精神力を持つ心













# 校庭からの



コバミツバツツジが励ましているよ

おへい、もう学校に慣れたか  
友達はできたか 僕は登美ヶ丘高校の  
校章としてデザインされたんだ  
いつまでも君達の胸で輝けることを  
誇りに思っているんだ



さくらの花が迎えているよ

新入生の皆さん入学おめでとう  
校庭の木や花は皆さんを大歓迎しています  
今年で入学式も10回目を迎え2,757名  
皆さんとの出会いがありましたよ  
三年間私達と色々なお話をしようね



つつじの花が挨拶をしているよ

トータルロードで毎朝君達に「おはよう」と挨拶しているんだぜ  
さわやかに笑顔で「おはよう」と返してくれよ 先生にも 友達にも 地球の人類も  
自分の方から挨拶しようぜ



ポプラの木が呼びかけているよ

考え事をしなくなったら僕らの並木道に  
おいでよ この並木道を「哲学の道」と  
呼んでいるんだよ 知っているかい  
ゆっくり何度も散歩してごらん  
新しい発想がわき出てくるよ

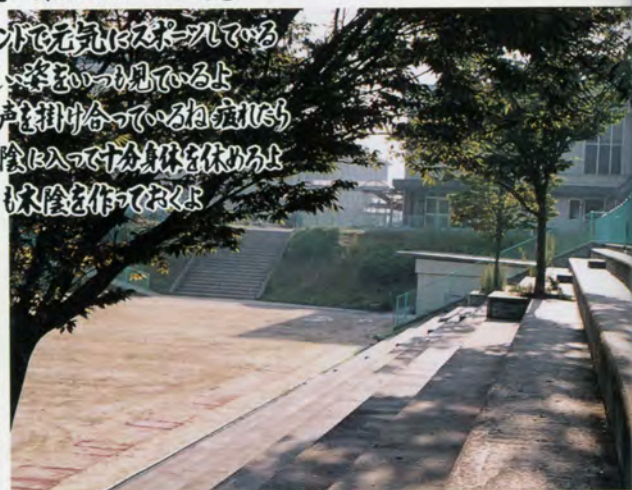


くすの木が夢を語っているよ

隣の山がまた1つめいられてしまったな  
まじか僕達を征服しようと考えているんじゃないか  
なだろうね いつまでも僕らと共に生きて  
いることを忘れるなよ 僕はあと50年かす  
れば 雲にも届くほどの大木になろうと  
思っているんだ 君達もどっかい夢を  
咲かせるんだよ

けやきの木が招いているよ

グラウンドで君達はスポーツしているよ  
たくさん汗をいっぱいかいているよ  
大きな声を掛け合っているね 疲れは  
僕の木陰に入ってきて身体を休めようよ  
いつでも木陰を作っておくよ

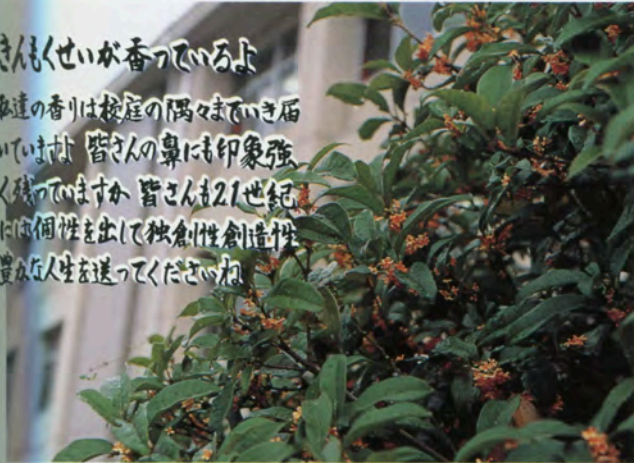




# メッセージ

きんもくせい(金木犀)が香っているよ

私達の香りは校庭の隅々までいき届いていま 皆さんの鼻にも印象強く残っていますか 皆さんも21世紀には個性を出して独創性創造性豊かな人生を送ってくださいね



もみじの葉がさざやいているよ

心が痛むときは 中庭におでおいで六角堂に腰をかけて私にうさげてごらん 私の小さな手でもつれた糸を解いてあげるよ



まつの木が話しぬけているよ

卒業生が高校も約10年たったんだね 僕達も大地に根づいたけれど君達も立派になったね 僕達は君達と共に生き成長していくつもりだよ



きさの葉がそよ風にゆれているよ

私達の隙間を通る風を感じてくれてるかい おいしだろう さわやかだろう 風に乗った僕達のメッセージを聞いてくれるかい



寒つばきの花が雪から顔を出しているよ

雨の日 風の日も雪の日も休むことなく元気に登校してきましたね AP.SH.クラブなど早朝から良く頑張ったと思いますよ 夜遅くまで寒さと戦いながら星空を観察したこともわすれられない思い出でしょうね



たいすぎが手を振っているよ

合宿で1,928名の入生乗立てを行ったんだね 卒業生1人1人の顔を覚えているよ 皆さんそれぞれの道で頑張っていることだろうね 時々私達に顔を見せに来てね あと10年もすればきっと学研都市の一部となって見違えるようになっていることだろうよ











# 登美ヶ丘高等学校校歌

作詞 亀井敦宥  
作曲 植野真奈美

一、生駒を仰ぐ この丘の

燃ゆる希望の 学舎に

誠の心 求めゆく

空に行き交う 風のように

仲間を招く 若人よ

ああ われら 登美ヶ丘高

二、富雄の川の 色澄みて

高き理想の 学舎に

勤める力 進みゆく

清き流れの 水のように

光輝く 若人よ

ああ われら 登美ヶ丘高

三、春日を望む 古き地の

あふるる誇りの 学舎に

強き体で 歩みゆく

大地に生きる 草のように

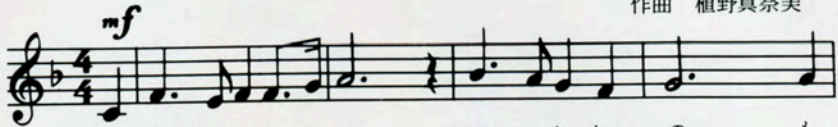
健やかに育つ 若人よ

ああ われら 登美ヶ丘高

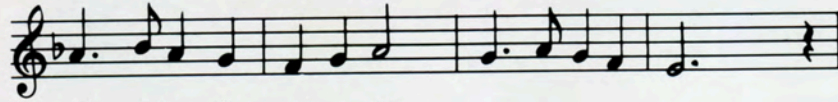
♩ = 112

## 登美ヶ丘高等学校校歌

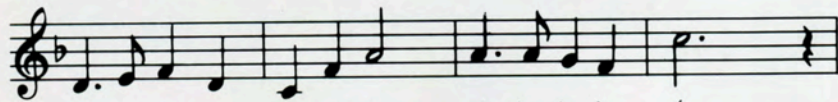
作詞 亀井敦宥  
作曲 植野真奈美



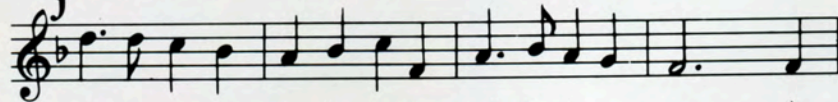
1. いこまをあおぐ このおか のもた  
2. とみおのあかのわののろすみ てのあ  
3. かみすがをのそむ ふるきち の



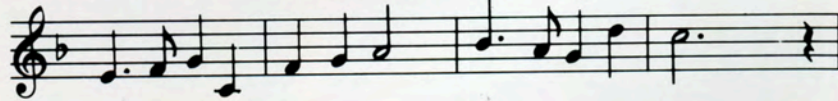
ゆー る き ほ う の の  
かー き り そ う の の  
ふ る る ほ こ り の



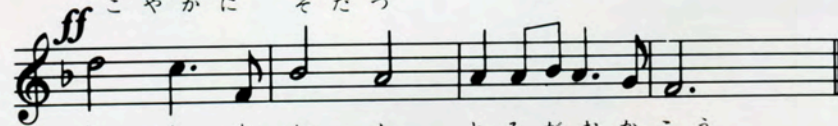
ま こと の こ ろ も と め ゆ く  
つ とめ る こ か ら と す み ゆ く  
つ よ き か ち だ で あ ゆ み ゆ く



そ ら に ゆ き か う か ぜ の よ う に な  
き よ き な が れ の の り の よ う に ひ  
だ い ち に い き る く さ の よ う に す



か ま を ま ね く  
か ー り か に が や く  
こ や か に そ だ つ



あ あ わ れ ら と み が お か こ う



第1部  
沿革

昭和61年度 ▶ 平成8年度  
(1986) (1996)



昭和61年度

1986年度

- 4. 1 学校設置準備事務所開設(仮称第17高等学校)
- 9. 30 県教育委員会で校章制定
- 11. 14 制服制定 この日を創立記念日とする
- 12. 12 県議会で校名「奈良県立登美ヶ丘高等学校」と決定
- 3. 16 第1回入学者選抜学力検査実施(受検者292名)
- 3. 19 合格発表(合格者270名 男160名・女110名)



■ 入学者選抜学力検査



■ 合格者説明会

'86

昭和62年度

1987年度

- 4. 1 奈良市船橋町の仮校舎で開校
- 4. 1 初代校長 亀井敦宥 着任
- 4. 7 校訓「誠実」「勤勉」「剛健」制定
- 4. 10 開校式並びに第1回入学式を県立短大で挙行
- 5. 26 育友会・文化体育後援会設立総会
- 6. 1 スタディーホールアワー開始
- 6. 22 校歌制定発表会(作詞 亀井敦宥 作曲 植野真奈美)
- 7. 28 学習宿泊カウンセリング(海住山寺ユースホステル)
- 9. 15 第1回文化祭(2日間)
- 9. 16 弁論大会、音楽発表会
- 9. 17 第1回体育大会(鴻ノ池陸上競技場)
- 10. 27 母校訪問(出身中学校へ)
- 12. 7 第1期工事竣工
- 12. 25 仮校舎から本校舎へ移転
- 1. 9 グラウンド開き校内球技大会 第1回地元中学招待サッカー大会
- 1. 20 第1回新春百人一首かるた大会
- 2. 8 天体ドーム設置
- 3. 19 タイムカプセルを前庭に埋設(平成10年11月15日開封)



■ 校歌制定発表会(仮校舎)

'87

この年のニュース

- 4. 1 国鉄民営化されJRに
- 7. 11 世界の人口50億人突破
- 9. 23 国内で29年ぶり金環日食
- 10. 12 利根川博士が日本人で初めてノーベル医学生理学賞受賞
- 11. 29 大韓航空機爆破事故  
乗客乗員全員死亡
- 1. 27 冬季五輪カルガリー大会開催
- 3. 13 世界最長の青函トンネル完成  
「JR津軽海峡線」開通
- 3. 24 中国上海市郊外で修学旅行中の高校生を乗せた列車衝突事故



■ 第1期工事

■ 天体ドーム建設







■ 仮校舎お別れ会で挨拶する初代亀井校長



■ タイムカプセル埋設



■ 校旗披露



■ 第1回体育大会(鴻ノ池陸上競技場)



■ 仮校舎から本校舎へ



■ 地元中学校招待サッカー大会



■ 音楽発表会・弁論大会



■ トータスロード



■ 第3期工事前のようなす

昭和63年度  
1988年度

- 4.11 第2回入学式(270名 男141名・女129名)
- 4.22 新入生宿泊研修(青少年野外活動センター)
- 5.10 第2期工事竣工
- 6.3 奈良シルクロード博見学
- 7.2 開放講座開始(健康管理・自然観察)
- 7.12 校旗披露
- 10.3 修学旅行 2年(信州・北陸方面)
- 11.25 同和教育講演会(講師 李 敏明氏)
- 2.7 パソコン実習 1年(情報処理教育センター)
- 2.13 通学路の愛称を「トータスロード」と決定
- 2.19 第2回地元中学校招待サッカー大会
- 2.28 第3期工事竣工

'88

この年のニュース

- 4.10 世界最長の道路鉄道併用橋「瀬戸大橋」開通
- 8.20 イラン・イラク戦争が停戦
- 9.17 ソウル五輪開幕
- 10.9 藤ノ木古墳の開棺に成功
- 1.7 昭和天皇崩御、新元号を「平成」と決め8日施行



## 平成元年度 1989年度

- 4.11 第3回入学式(270名 男148名・女122名)
- 4.21 新入生宿泊研修(青少年野外活動センター)
- 6.5 落成式挙行 知事他180名の来賓出席
- 6.19 文化鑑賞会「狂言」(体育館)
- 9.9 文化祭(2日目公開 外来者2,300名)
- 10.3 修学旅行 2年(6日まで信州方面)
- 10.11 生活体験発表会(1・2年)
- 2.15 予餞会
- 3.1 第1回卒業証書授与式 卒業記念碑(校訓碑)除幕式



■ 落成式



■ 校訓碑除幕式



■ 第1回卒業式



■ 育友会盆栽教室



■ 開放講座

## 平成2年度 1990年度

- 4.11 第4回入学式(315名 男141名・女174名)
- 4.20 新入生宿泊研修(野外活動センター、2・3年生 花の万博)
- 5.20 第1回同窓会、同窓会設立総会
- 6.6 格技場竣工
- 6.18 文化鑑賞会「山月記」(本校体育館)
- 9.5 教育放送番組撮影
- 10.3 修学旅行 2年(6日まで信州方面)
- 10.30 1年母校(中学校)訪問(11/1まで)
- 11.24 校内アンサンブル発表会
- 1.28 天体観望会
- 3.1 第2回卒業証書授与式



■ 新春百人一首かるた大会



■ 格技場完成



■ 花博見学

'89

### この年のニュース

- 4.1 我国初の間接税「消費税」が導入
- 6.3 北京天安門広場で、戒厳部隊とハンスト学生たちが衝突
- 6.24 戦後の歌謡界の女王美空ひばりさん死去 国民栄誉賞が贈られる
- 8.25 米国の惑星探索機ボイジャー2号が海王星に最接近
- 10.18 米国サンフランシスコで大地震発生 大惨事となった

'90

- 4.1 大阪で「国際花と緑の博覧会」開幕
- 8.2 イラクがクウェートに侵攻、原油価格急騰
- 8.21 フィールズ賞が森重文・京大教授ら4人に贈られた
- 10.3 東西ドイツが統一
- 12.2 秋山豊寛さんがソユーズM11号で日本人初の宇宙飛行士となる
- 1.17 多国籍軍によるイラク攻撃で湾岸戦争勃発(2月28日まで)



平成3年度

1991年度

- 4.1 第2代校長 乾 芳和 着任
- 4.10 第5回入学式  
(270名 男123名・女147名)
- 4.19 新入生宿泊研修(野外活動センター)
- 6.3 文化鑑賞会「ギター」(本校体育館)
- 2.1 修学旅行 2年(スキー)
- 2.19 予餞会
- 3.1 第3回卒業証書授与式



■ 校章(卒業記念)



■ 文化鑑賞会



■ 入学式



■ 文化祭

平成4年度

1992年度

- 4.10 第6回入学式  
(270名 男117名・女153名)
- 4.19 新入生宿泊研修(野外活動センター)
- 6.3 文化鑑賞会「歌舞伎」  
(奈良県文化会館)
- 9.11 文化祭(公開)
- 11.4 1年映画鑑賞会「典子は今」
- 11.26 学習指導研究発表会(研究指定)
- 2.1 修学旅行 2年(スキー)
- 3.1 第4回卒業証書授与式



■ 学習指導研究発表会



■ 文化祭



■ 生活体験発表

この年のニュース

'91

- 5.14 滋賀県信楽高原鉄道で列車衝突大惨事となる
- 6.3 雲仙普賢岳で大規模な火砕流発生
- 8.23 世界陸上選手権が東京で開幕  
マラソンで谷口、山下がそれぞれ金・銀
- 8.25 種子島宇宙センターより放送衛星「ゆり3号b」打ち上げ成功
- 9.25 WBCバンタム級 辰吉丈一郎王座に
- 1.7 米国ブッシュ大統領来日
- 3.11 新幹線「のぞみ」デビュー

'92

- 5.20 唐古・鍵遺跡から楼閣を描いた土器片発見
- 6.6 生涯出産数は平均1.53人で最低記録更新
- 7.27 バルセロナ五輪 女子200M平泳ぎで岩崎恭子選手金
- 9.12 米スペースシャトル「エンデバー」に毛利衛さん搭乘
- 9.12 学校週5日制スタート(第2土曜休業日)
- 1.16 大学入試センター試験史上最多の51万3千人出願



## 平成5年度

### 1993年度

- 4.12 第7回入学式 (287名 男131名・女156名)
- 4.23 新入生宿泊研修(野外活動センター)
- 6.3 文化鑑賞会「古典落語」(本校体育館)
- 11.27 第1回創作ダンス発表会
- 2.8 修学旅行 2年(スキー)
- 3.1 第5回卒業証書授与式



■ 創作ダンス発表会



■ 野球応援



■ 文化鑑賞会(古典落語)

## 平成6年度

### 1994年度

- 4.1 第3代校長 井阪雅宥 着任
- 4.11 第8回入学式 (246名 男125名・女121名)
- 4.27 新入生宿泊研修(野外活動センター)
- 6.3 文化鑑賞会「モンゴル草原音楽」(本校体育館)
- 6.10 入試改善検討委員会設置
- 6.21 初任者研修 本校会場校
- 7.11 家庭クラブ 大倭滝の峯荘訪問交流
- 7.21 NHK映像スペクタクル  
「レビ彗星、木星に衝突」本校会場
- 8.5 第22回奈良県高等学校同和教育研究大会  
本校会場 840名参加
- 10.8 秋風のコンサート(体育館 約400人入場)
- 10.19 文化講演会(唯川 恵氏)
- 12.12 10周年記念誌編集委員会
- 12.17 家庭クラブ/吹奏楽部  
保育園訪問(中登美保育園)
- 1.30 修学旅行 2年(スキー 志賀高原)
- 2.10 いじめ問題検討委員会
- 3.1 第6回卒業証書授与式



■ 防災避難訓練



■ 入学式

## この年のニュース

### '93

- 5.15 Jリーグ開幕
- 6.9 皇太子殿下と小和田雅子さんの  
結婚の儀が皇居で行われる
- 7.12 北海道南西地震が奥尻島を直撃
- 7.29 ゼネコン汚職摘発
- 8.27 米作柄概況報告 記録的冷夏による不作
- 2.12 リレハンメル冬季五輪開幕

### '94

- 7.8 向井千秋さんが日本人初の女性宇宙飛行士
- 8.30 史上最悪の湯水
- 9.4 関西国際空港開港
- 10.2 広島でアジア競技大会開会
- 10.14 大江健三郎氏ノーベル文学賞受賞
- 1.17 阪神淡路大震災発生(M7.2)観測史上初の震度7と判定  
出火250ヶ所 大災害となる
- 3.20 東京地下鉄車内でサリンを使った無差別テロ発生
- 3.22 オウム真理教教団施設強制捜査



■ 家庭科実習(男女共修始まる)





■秋風のコンサート



■文化講演会



■校舎東側造成前



■家庭クラブ老人ホーム訪問



■文化鑑賞会(演劇)



■修学旅行(スキー実習)

平成7年度  
1995年度

- 4.11 第9回入学式(246名 男107名・女139名)
- 6.17 文化鑑賞会「新しい獲物」(生駒中央公民館)
- 9.8 第9回文化祭(公開 約1,000人入場)
- 10.26 緑の森造成事業 植林
- 11.28 献血 105名採血(含職員)
- 1.30 修学旅行 2年(一ノ瀬スキー場)
- 3.1 第7回卒業証書授与式



■緑の森造成事業



■文化祭(育友会バザー)

平成8年度  
1996年度

- 4.1 第4代校長 松田親典 着任
- 4.11 第10回入学式  
(240名 男112名・女128名)
- 6.17 文化鑑賞会「和太鼓」(本校体育館)
- 9.6~7 第10回文化祭(食品バザー中止)
- 9.8 創立10周年記念講演会(吉井秀一氏)
- 11.6 創立10周年記念式典



■入学式

この年のニュース

'95

- 7.11 米大リーグオールスター戦で野茂英雄投手 2回を無失点に抑える
- 11.19 APEC大阪会議で「大阪宣言」

'96

- 7.27 アトランタ五輪柔道60kg級で本県出身の野村忠宏選手金メダル



# 第2部 メッセージ

## 創立10周年に寄せて

初代校長	亀井敦宥
初代教頭	田中喜久
初代育友会長	中林時彦
二代校長	乾芳和
二代事務長	八尾弘昭
前学校長	井阪雅宥
旧職員	阪本維
旧職員	中野和昭
旧職員	大井幸代





## 創造から躍動へ

初代校長

亀井敦宥

登美の丘に逞しい10歳の年輪を造られ、ここに創立10周年の記念すべき好き日を迎えられたことは誠に意義深く衷心よりお祝い申し上げます。

顧みるとき、仮校舎（奈良市船橋町）の正面玄関に全教職員と共に「校名板」を掲げた時の感激、開校式での「開校宣言」の重みと決意、新入生一人ひとりと交わした「握手の温もり」等が昨日のことのよう蘇り、10歳の誕生節を迎えられた早さを熟と感じている次第であります。

思えば、仮称第17高校の設置準備を命ぜられたときは、学校の建設地や建築の概要は示されたものの教育内容までには及んでおりませんでした。そこで、21世紀の教育像を求めながら、教育課程、教育方針・教育目標、故事来歴を探りながら校名・校章・校歌の制定、制服の決定、中学校への協力要請、さらに初代事務長・城ノ内三郎氏と共に懇願を重ねた地元住民への協力依頼等、まさしく東奔西走の日々の連続でありましたが、関係各位のご支援等により仮校舎ながら学校としての躍動を開始できるようになった時は深い感動を覚えたのであります。

9ヶ月間の仮校舎生活中や、本校舎に移転後も施設・設備が不備のため教育活動に支障がありましたが、幸いにも、県当局のご理解と新しい学校創造への意欲に燃えてご精励いただいた全教職員、先駆者としての意気に燃え新しい道を開いてくれた1・2・3期生の諸君、新設高校創りにお子さんと共に親身になって協力して下さった保護者の方々等のご苦勞の積み重ねと、その気構えが大きな伝統となり、今日の登美ヶ丘高校の礎が築かれたものと確信しております。

開校より3年、落成式を迎えた日には近代的な施設・設備が完備され、多数の来賓をお迎えし厳粛のなか、盛大に式典を挙げてきたことへの感動と共に、きびきびした生徒諸君の動作と、育友会の皆さん方の結集の力と心くばりに出席された方々が大きな感銘を受けておられたことは、今も私の脳裏に刻まれております。設置準備を含めて5ヶ月間、素晴らしい学校像を求めて精進を続け、実にやり甲斐のある充実した日々を送ることができましたことに改めて感謝申し上げます。

本日、ここに記念すべき10周年を迎えられたことを一つの契機として、更に大きな意義のある年輪を造られることを祈念してお祝いの言葉といたします。

なお、終わりにあたり、新設高校創り並びに学校運営等にご苦勞をお掛けしました初代教頭・田中喜久先生、二代教頭・岡村隆司先生のご厚志とご協力に感謝を申し上げます。また、この記念すべき10周年を待たずに故人となられた初代事務長・城ノ内三郎氏、教諭・松田真三氏、教諭・黒田純弘氏の各氏の誠実な歩み方と真摯な教育愛に敬意を表するとともにそのご協力に感謝の念を抱きつつ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



# 第4部 記録・資料

校舎配置図

クラス・在籍数の変遷

登美ヶ丘高校の一年

クラブ活動の成果

新聞記事

校内刊行物

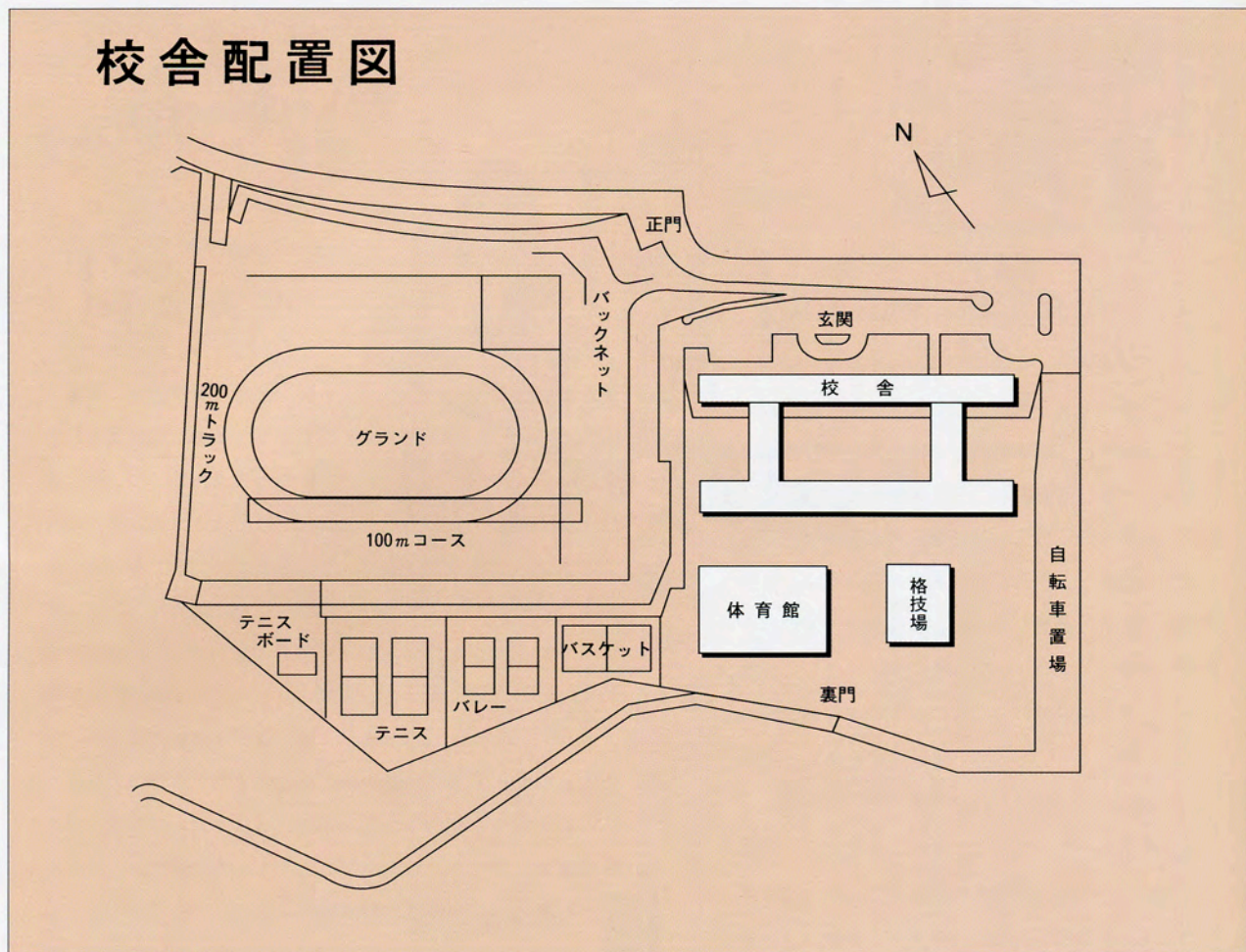
各種記念事業記念品

教職員の推移・異動

出身中学別入学者数の変遷



## 校舎配置図



校地総面積 43,680 $m^2$

### 第一期工事

(北館)

- 1 F 校長室、事務室、小会議室、職員室、放送・印刷室、調理室、調理研究室、更衣室、倉庫
- 2 F 被服室、被服研究室、普通教室(5)、倉庫
- 3 F 物理室、物理研究室、国語研究室、普通教室(5)

(屋外)

- 体育館、運動場、テニスコート、バレーコート、バスケットコート、フェンス、門、倉庫
- 自転車置場(4)

### 第二期工事

(北館)

- 1 F 会議室、更衣室
- 2 F 図書室、図書管理室
- 3 F 書道室、書道研究室

(西渡廊下棟)

- 1 F 生徒昇降口、生徒更衣室、倉庫
- 2 F 美術室、美術研究室、生徒指導室

(南館)

- 1 F 保健室、保健管理室、カウンセリングルーム、普通教室(3)
- 2 F 情報学習室、情報コントロール室、普通教室(3)
- 3 F 視聴覚室、視聴覚準備室、地学室、理科研究室、理科講義室

屋上

- 天体ドーム
- 中庭、自転車置場(4)

### 第三期工事

(南館)

- 1 F 社会科教室、社会科研究室、化学室、化学準備室、暗室、薬品庫
- 2 F 生物室、生物準備室、普通教室(2)、倉庫
- 3 F 作法室、茶室、音楽室、音楽研究室、器具庫、生徒会室

(東渡廊下棟)

- 1 F 購買、解放研究室、業務員室、湯沸室、倉庫
- 2 F 進路指導室、数学研究室、英語研究室

### 格技場工事



## クラス・在籍数の変遷

入学時のクラス数及び生徒数の変遷

	学級数	男	女	合計
昭和62年	6	160	110	270
昭和63年	6	141	129	270
平成元年	6	148	122	270
平成2年	7	141	174	315
平成3年	6	123	147	270
平成4年	6	117	153	270
平成5年	7	131	156	287
平成6年	6	125	121	246
平成7年	6	107	139	246
平成8年	6	112	128	240

在籍数とクラス数の変遷

	学級数	1年	2年	3年	合計
昭和62年	6	270	—	—	270
昭和63年	12	271	269	—	540
平成元年	18	270	270	267	807
平成2年	19	316	269	269	854
平成3年	19	271	316	266	853
平成4年	19	271	270	312	853
平成5年	19	288	267	269	824
平成6年	19	247	287	265	799
平成7年	19	247	242	288	777
平成8年	18	244	245	242	731

男女別生徒数の変遷

	1年			2年			3年			全体計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男合計	女合計	総計	学級数
昭和62年	160	110	270	—	—	—	—	—	—	160	110	270	6
昭和63年	141	130	271	158	111	269	—	—	—	299	241	540	12
平成元年	148	122	270	141	129	270	157	110	267	446	361	807	18
平成2年	141	175	316	148	121	269	141	128	269	430	424	854	19
平成3年	123	148	271	143	173	316	146	120	266	412	441	853	19
平成4年	117	154	271	123	147	270	140	172	312	380	473	853	19
平成5年	132	156	288	115	152	267	122	147	269	369	455	824	19
平成6年	125	122	247	131	156	287	115	150	265	371	428	799	19
平成7年	107	140	247	123	119	242	130	158	288	360	417	777	19
平成8年	113	131	244	107	138	245	122	120	242	342	389	731	18



# 登美ヶ丘高校の一年

4月



合格発表



着任式



入学式



クラブ勧誘



校外学習

5月



生徒会役員選挙

6月



文化鑑賞会



球技大会



生徒総会



奉仕活動

8月

7月



野球応援



夏期休業



9月



文化祭

10月



体育大会



11月



創作ダンス発表会



秋風のコンサート

1月



かるた大会

2月



球技大会(1年生)

3月



修学旅行(2年生)



予餞会



卒業式



## クラブ活動の成果

### 昭和62(1987)年度

#### ◆美術部

県高校総体ポスター部門 1-3 羽室 寛 優秀賞

### 昭和63(1988)年度

#### ◆美術部

総合文化祭ポスター 1-4 村田 のぞみ 優秀賞

#### ◆書道部

日本学生書道展 2-2 河合 美 弥 特選

日本学生書道展 2-2 粉家 満理子 特選

#### ◆テニス部

県ジュニアテニス選手権秋季大会 男子16才以下ダブルス

1-2 黒田 大 悟・仲 弘 昭 優勝

#### ◆柔道部

県段別柔道選手権大会 2段の部

2-3 広瀬 庸 介 第3位

### 平成元(1989)年度

#### ◆陸上部

県高校陸上競技選手権大会(近畿大会出場)

1-4 黒下 寛 泰 第3位

#### ◆テニス部

近畿高校庭球選手権大会県予選 女子団体 優勝

県高校総体 女子団体 優勝

県高校総体 男子団体 準優勝

県ジュニアテニス選手権秋季大会 女子16才シングルス

1-2 青野 かおり 準優勝

#### ◆書道部

日本学生書道展 1-5 山本 将 貴 特選

#### ◆写真部

全国高校総合文化祭県代表出品 1-3 池田 覚 文化連盟賞

#### ◆弓道部

学年別大会 2年男子団体 第3位

### 平成2(1990)年度

#### ◆テニス部

県ジュニアテニス選手権春季大会 男子18才以下ダブルス

3-5 黒田 大 悟・木谷 陽 輔 準優勝

県ジュニアテニス選手権春季大会 女子18才以下シングルス

2-1 青野 かおり 準優勝

全国高校総体県予選 女子18才以下シングルス(全国大会出場)

2-1 青野 かおり 優勝

全国高校総体県予選 男子18才以下ダブルス

3-5 井 槽 学・木谷 陽 輔 優勝

全国高校総体県予選 女子ダブルス

2-1 青野かおり 3-4 松本香織 優勝

近畿高校テニス選手権大会県予選 女子シングルス

2-1 青野 かおり 準優勝

県高校総体 女子団体 準優勝

県ジュニアテニス選手権秋季大会 女子 18才以下シングルス

2-1 青野 かおり 優勝

#### ◆書道部

文殊院奉納書作展 2-6 西 浦 由 記 特別賞







◆吹奏楽部

第1回県管楽器独奏コンクール

金管の部 2-2 松重 学 金賞  
木管の部 2-1 松嶋 通子 金賞

◆バスケットボール部

近畿高校バスケットボール選手権県予選 女子団体 第3位

平成2年度県高体連バスケットボール部 優秀選手賞

3-3 西田 千枝里 3-1 林 知代

県少女選抜選手としてミニ国体出場 3-1 林 知代

◆陸上部

県高校陸上競技選手権大会 走高跳

2-1 黒下 寛 泰 第3位

県高校総体 走高跳 2-1 黒下 寛 泰 準優勝

◆演劇部

県高校演劇発表会県大会 優秀賞

◆写真部

全国高校総合文化祭県代表出品 2-6 池田 覚 文化連盟賞

よみうり写真大賞 1-6 池田 覚 入選

平成3(1991)年度

◆吹奏楽部

県管楽器独奏コンクール 木管の部

3-1 松嶋 通子 金賞G

県吹奏楽コンクール 高校Aの部 金賞

◆テニス部

県ジュニアテニス選手権春季大会 男子18才以下ダブルス

3-1 山元志朗 3-2 柏木太志 準優勝

県ジュニアテニス選手権春季大会 女子18才以下シングルス

3-1 青野 かおり 準優勝

県ジュニアテニス選手権春季大会 女子18以下ダブルス

3-1 青野かおり 3-5 南 あやこ 準優勝

全国高校総体県予選 男子ダブルス(全国大会出場)

3-1 山元志朗 3-2 柏木太志 優勝

全国高校総体県予選 女子シングルス(全国大会出場)

3-1 青野 かおり 優勝

◆書道部

全国競書大会 3-4 山本 将 貴 特選

全国競書大会 2-2 松本 環 特選

◆陸上部

近畿高校陸上競技選手権県予選 400m

1-6 村上 直子 第3位

近畿高校陸上競技選手権県予選 女子高跳

1-6 村上 直子 第3位

近畿高校陸上競技選手権県予選 円盤投

1-2 武田 美奈子 第3位

◆弓道部

県高校総体 男子個人 2-7 伊藤 慶 準優勝

◆バスケットボール部

高校新人大会兼近畿高校新人大会県予選 第3位

平成4(1992)年度

◆テニス部

県ジュニアテニス選手権春季大会 男子シングルス

3-7 猪口 純 路 優勝

県高校生テニス大会 男子シングルス

2-2 砂 辺 松 重 優勝

全国選抜高校テニス大会県予選 男子団体 準優勝







◆かるた

県高校小倉百人一首かるた大会 準優勝  
 秋季奈良かるた大会 初心者の部  
 2-5 遠藤 寛子 優勝  
 全国かるた競技奈良大会E級 1-7 大田 有紀 優勝

◆テニス部

近畿高校テニス大会県予選 女子シングルス 1-7 山本 江里 優勝  
 近畿高校テニス大会県予選 女子ダブルス 1-4 杉江 潤子 1-7 山本 江里 優勝  
 県高校生テニス大会 女子シングルス 2-1 西山 雪絵 優勝  
 県高校生テニス大会 女子シングルス 1-7 山本 江里 準優勝  
 県高校総体 女子団体の部 優勝  
 全国高校選抜テニス大会県予選 女子団体の部 優勝  
 県ジュニア選手権秋季大会 女子18才以下シングルス 1-7 山本 江里 準優勝

◆書道部

日本武道館書写書道大展覽会 3-5 吉田 英樹 奨励賞



平成6(1994)年度

◆テニス部

全国高校総体県予選 女子団体の部(全国大会出場) 優勝  
 全国高校総体県予選 女子シングルス(全国大会出場) 2-2 山本 江里 準優勝  
 全国高校選抜テニス大会県予選 男子団体 準優勝  
 国体ジュニア奈良県代表に選出される 2-2 山本 江里  
 県ジュニアテニス選手権大会 男子18才以下ダブルス 2-3 中川 雅晴 2-6 中井 淳 準優勝  
 県ジュニアテニス選手権大会 男子18才以下シングルス 2-3 中川 雅晴 準優勝  
 県秋季ジュニアテニス大会 女子ダブルス 2-2 山本 江里 2-5 杉江 潤子 準優勝  
 県秋季ジュニアテニス大会 女子シングルス 2-2 山本 江里 優勝  
 県秋季ジュニアテニス大会 女子シングルス 2-5 杉江 潤子 準優勝  
 湖都選抜テニス大会 女子ダブルス 2-2 山本 江里 2-5 杉江 潤子 第3位

◆弓道部

県高校総体 女子団体 第3位

◆吹奏楽部

県吹奏楽コンクール 高校Aの部 金賞

◆放送部

NHK杯全国高校放送コンテスト県大会(全国大会出場) 優良賞

◆書道部

日本武道館書写書道大展覽会 3-6 浅井 七重 奨励賞  
 日本武道館書写書道大展覽会 3-1 海賀 美代子 奨励賞

◆なぎなた

第49回国民体育大会(わかしゃち)出場 3-5 森本 真理子

◆物理選択者

日本学生科学賞県審査 2-7 川崎 歩 優秀賞

◆かるた

県高校小倉百人一首かるた大会 準優勝

平成7(1995)年度

◆テニス部

県ジュニアテニス選手権大会 女子18才以下シングルス 3-3 山本 江里 優勝  
 県ジュニアテニス選手権大会 女子18才以下ダブルス 3-6 杉江 潤子 3-3 山本 江里 優勝  
 県ジュニアテニス選手権大会 男子18才以下シングルス 3-1 中川 雅晴 準優勝  
 全国高校総体県予選 女子シングルス(全国大会出場) 3-3 山本 江里 優勝





全国高校総体県予選	女子ダブルス(全国大会出場)			
3-3	山本江里	3-6	杉江潤子	優勝
全国高校総体県予選	女子ダブルス			
3-1	沼井晃子	2-6	平本和香奈	準優勝
全国高校総体県予選	男子ダブルス(全国大会出場)			
3-1	中川雅晴	3-2	児玉友一郎	優勝
全国高校総体県予選	女子団体 準優勝			準優勝
国体ジュニア奈良県代表に選出される		3-3	山本江里	
近畿高校テニス大会県予選	女子ダブルス			
2-6	平本和香奈	2-1	磯渚	優勝
県高校総合体育大会	女子団体			準優勝
県高校新人大意兼全国請高校テニス大会兼予選	女子団体			優勝

## ◆放送部

第11回兼高校放送コンテスト番組製作テレビ部門(全国大会出場)	優秀賞
NHK杯全国高校放送コンテスト県大会(全国大会出場)	優良賞
全国高校総合文化祭(新潟県)県代表出場	文化連盟賞

## ◆かるた

全国高校総合文化祭(新潟県)県代表出場	文化連盟賞
---------------------	-------

## ◆吹奏楽部

全国高校総合文化祭(新潟県)県代表出場	文化連盟賞
近畿高校総合文化祭県代表出場	奨励賞

## ◆演劇部

県高校演劇発表会夏季研修大会	3-4 池田 悟	創作脚本賞
----------------	----------	-------

## ◆陸上部

県高校陸上競技対抗選手権大会学年別	400mR	準優勝
県高校陸上競技対抗選手権大会学年別	400m	
	1-5 松岡沙織	第3位
県高校陸上競技対抗選手権大会学年別	学年別総合の部	準優勝
県高校総合体育大会	女子400m(近畿大会出場5位)	
	1-5 松岡沙織	優勝
県高校総合体育大会	女子走り幅跳び	
	1-3 新谷彩子	準優勝

## ◆書道部

高円宮杯日本武道館書写書道展	2-5 源羽 知世美	大会奨励賞
----------------	------------	-------

## ◆なぎなた

第50回国民体育大会(福島県)出場	3-5 森本 真理子	
-------------------	------------	--

## ◆写真部

近畿高校総合文化祭県代表出展	2-6 勝平 浩三	奨励賞
----------------	-----------	-----

## 平成8(1996)年度 (4月~8月)

## ◆野球部

春季近畿地区高校野球奈良県予選	ベスト4
-----------------	------

## ◆陸上部

1996奈良県選手権大会	学年別女子4×400mR	第2位
	2-3 田中加奈	2-2 新谷彩子
	3-5 飯田稔子	2-3 松岡沙織
1996奈良県選手権大会	学年別男子400mH	
	1-2 井口陽二郎	第2位
1996奈良県選手権大会	学年別女子400m	
	2-3 松岡沙織	第2位
	1-6 山敷 さゆり	第3位

## ◆バレーボール部

全国高校総体県予選兼近畿大会予選	女子	第4位(近畿大会出場)
------------------	----	-------------

## ◆テニス部

近畿高等学校テニス大会県予選	女子ダブルス		
	2-2 楠本真子	1-3 川村裕子	優勝
奈良県高校生シングルス大会	女子シングルス		
	1-3 川村裕子		優勝

## ◆サッカー部

国体少年男子奈良県選抜選手	3-4 大野喜幸	国体選手
---------------	----------	------

## ◆吹奏楽部

県吹奏楽コンクール	高校Aの部	金賞
-----------	-------	----

## ◆かるた

全国高校総合文化祭かるた部門(北海道)		文化連盟賞
---------------------	--	-------

## ◆放送部

NHK杯全国高校放送コンテスト県大会(全国大会出場)	優良賞
----------------------------	-----





校内刊行物



校誌「躑躅」



人権作文・読書感想文集  
「まごころ」



入学式・卒業式次第



指定研究冊子



学校経営計画



「入学のしおり」



育友会広報紙「つづし」



「学校案内」



文化祭プログラム



「総括記録集」



「修学旅行のしおり」



しおり「虹」



## 各種記念事業記念品

### 1. 落成記念(植樹)



### 2. 卒業記念



校訓碑(1期生)



テーブル掛(2期生)



校章銘板(3期生)



ソーラー時計(4期生)





校章レリーフ（5期生）



掲示板（6期生）



ワールド時計（7期生）

### 3. 十周年記念



エアコンディショナー（社会科教室）



文化講演会



## 創立10周年記念事業

- 4月 コンピュータ機種更新  
7月 記念スローガン、シンボルマーク決定  
「新たなる輝きを求めて」  
8月 エアコンを  
社会科教室に設置  
9月 記念文化祭（準公開）  
文化講演会  
吉井秀一氏「新聞記者のみた現代」  
（毎日新聞大阪本社運動部長）  
10月 同窓会名簿完成  
11月 記念誌発刊  
11月6日  
記念式典挙行・祝賀会・記念植樹



### 式次第

- |          |         |
|----------|---------|
| 1. 開式の辞  | 6. 来賓紹介 |
| 2. 君が代斉唱 | 7. 祝電披露 |
| 3. 校歌斉唱  | 8. 謝辞   |
| 4. 学校長式辞 | 9. 閉式の辞 |
| 5. 来賓祝辞  |         |

## 創立10周年記念事業 実行委員会組織

- 委員長 和田晋一（前育友会長）  
顧問 松田親典（学校長）  
中林時彦（元育友会長）  
峰山武彦（元育友会長）  
樽井喜之（元育友会長）  
副委員長 片根得光（育友会長）  
広瀬庸介（同窓会長）  
石井真純（教頭）  
会計 志水みやぎ（育友会副会長）  
青柳圭一（同窓会副会長）  
北岡裕（事務長）  
監査 松井瑞枝子（育友会副会長）  
井藤一憲（育友会副会長）  
日下直也（同窓会副会長）
- 各部長  
総務部会 石井真純（教頭）  
準備部会 小南昌紀（教諭）  
記念品等部会 宮坂正孝（教諭）  
記念式典部会 丸山正博（教諭）  
祝賀会部会 大谷福德（教諭）  
記念誌発行部会 井上次夫（教諭）  
同窓会名簿発行部会 南千秋（教諭）

## 編集後記

本校は昭和の時代に産声を上げ、いま平成の時代に創立10周年を迎えました。そしてこのたび「創立十周年記念誌」が発刊されるはこびとなりました。

平成6年に第1回記念誌発行部会編集委員会が催されてから発刊に至るまでのおよそ2年の間にも新しい変化が数多くあり、昭和62年の本校創立以来のあゆみを辿る作業は、決して平坦なものではありませんでした。しかし、幸いにも、創立当初からの校内刊行物、新聞記事、写真等がよく整理され保管されており非常に役立ちました。特に、学校の創立前後・揺籃期については3年目に発刊された校誌「躑躅」が大いに参考となりました。また、この間、本校をわが子の如く慈しみ育ててこられた方々の熱い思いに幾度となくふれる機会を得ました。そのたびに、この職責を全うすることの重大さを痛感したものです。

さて、編集に際しては本校創立10年来の軌跡を印象的に描くことを方針の一つとしました。このためA4判を採用し、ビジュアルな誌面にするなど些少の工夫を凝らしました。また第5部には同窓会名簿も掲載しましたのでご活用いただけるのではないかと存じます。

以上、私ども編集委員は使命感をもって編集に取り組んでまいりましたものの、慣れない仕事ゆえになお不十分な箇所や過誤が見受けられるかもしれません。この記念誌をお読みになった方々が本書はまた次の記念誌への第一歩でもありとご理解くださりご寛容くださることを請うものであります。

最後に、柿本善也知事様、天根俊治教育長様はじめご祝辞をお寄せくださいました各位、またご協力を賜りました皆様方に深く感謝申し上げますとともに、終始何かと相談に乗っていただいた生嶋印刷様に厚く御礼申し上げます。

編集委員

## 創立10周年記念誌編集委員会

- 編集委員 井上次夫・岡信安  
木村修三・小南昌紀  
更谷富美子・中井和子  
古田生美子・宮坂正孝







**1996**